

## 情報

航空局管制保安部  
管制課  
平成19年10月5日

## 1. 発生日時／場所

平成19年10月5日 17時47分ごろ  
大阪国際空港滑走路32R上

## 2. 運航者

全日本空輸

## 3. 航空機

国籍／登録記号 JA8389 型式 A320型

## 4. 出発地及び最初の着陸予定地（便名：ANA448）

松山空港 → 大阪国際空港

## 5. 搭乗者

乗員6名 乗客159名 計165名

## 6. 概要

当該機は、一般的な運用どおり、関西ターミナル管制所からILS を使用して滑走路32Lへ向かった上で、滑走路32Rを視認した後、滑走路32Rへ向かうことを許可された。同機は、飛行場管制官との通信設定時に、「32LのILSコース上」である旨通報した。この通報を受けた飛行場管制官は、滑走路32Lへの着陸を要求されたと判断し、滑走路32Lへの着陸許可を発出した。これに対し、同機は「滑走路32Rに着陸」と復唱したが、管制官は訂正しなかった。

その後、管制官が別の出発機に対し滑走路32Rへの滑走路内待機を指示したところ、当該出発機は32Rへ進入機があるのではないかと管制官に確認を求めた（出発機は当該管制指示に了解することなく、滑走路32Rには進入しておらず、誘導路で待機していた。）。当該出発機が確認を求めてきた時には、ANA機は着陸寸前であり、そのまま着陸させることが安全と判断したこと及び出発機との安全間隔は十分に取れると判断したことにより、管制官はANA機に対し着陸復行等の新たな指示を行わなかった。ANA機は、17時47分、滑走路32Rに着陸した。

なお、本件のA320型機は通常滑走路32Rを使用しているが、パイロットからの要求がある場合又は管制官の判断により、滑走路32Lを使用する場合もある。

## 7. 死傷者、機体の損壊等

なし